

事業番号

2023 - 文科 - 新24 - 0004

令和5年度行政事業レビューシート		(文部科学省)					
事業名	専修学校の国際化推進事業			担当部局	総合教育政策局	作成責任者	
事業開始年度	令和6年度	事業終了(予定)年度	令和9年度	担当課室	生涯学習推進課	生涯学習推進課長 石橋 晶	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)				関係する 計画、通知等	経済財政運営と改革の基本方針2023(令和5年6月16日閣議決定)		
政策	1 新しい時代に向けた教育政策の推進			主要経費	教育振興助成費		
施策	1-4 生涯を通じた学習機会の拡大						
政策体系・評価書URL							
事業の目的 (5行程度以内)	専修学校において、外国人留学生の戦略的受入れの促進と円滑な就職、その後の定着までを見据えた就職先企業との連携に関するモデルを構築するとともに、海外校設置にあたってのモデルプラン作成等を行い、専修学校の国際化を推進する。						
現状・課題 (5行程度以内)	外国人留学生については、これまで「留学生 30 万人計画」に基づき、受入れを促進してきたところであり、2019 年には約 31 万人と当初の目標を達成したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2022 年には約 23 万人に減少した。 一方で、感染症の影響が一時期に比べて世界的な収束へと向かい、ポストコロナ時代に向けた動きが活発化する中、教育未来創造会議第二次提言「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ」では、2033年までに外国人留学生の受入数 40万人を目指すことが掲げられ、より一層の留学生受入れ強化が求められているところである。また本提言の中では、日本国内での就職を希望する外国人留学生は6割強程度という調査結果もある中、外国人留学生の日本国内での進学者を除く国内就職率は、2020 年では約 40%にとどまっており、国内定着に関する課題も指摘されている。加えて、教育の国際化の意義・必要性についても言及がなされているところである。 こうした中、日本への外国人留学生のうち約22%が専門学校に在籍しており、専修学校の果たすべき役割は非常に大きいことから、一層戦略的な留学生の受入れや国内定着を見据えた就職支援等を行い、専修学校の国際化を推進していく必要がある。						
事業概要 (5行程度以内)	専修学校において、外国人留学生の戦略的受入れの促進と就職先企業との連携も踏まえた円滑な就職、その後の定着までを見据えたトータルパッケージモデルを構築し、その成果を展開する。また、専修学校の海外校の設置に向けたスキームを含めたモデルプランを作成し、現地教育機関との提携拡大を図りつつ、専修学校生の留学促進を図る。						
事業概要URL							
実施方法	委託・請負						
補助率等							
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
			/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	-	315.4
執行額(G)	-	-	-	-	/		
執行率(%) =(G)/(F)	-	-	-	-	/		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	-	-	/		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	教育政策推進費			※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計額が一致しない場合がある。		
	(目)	教育政策推進事業委託費		313.2	要求額のうち「重要政策推進枠」:315百万円		
	(目)	職員旅費		1.1			
	(目)	委員等旅費		0.5			
	(目)	諸謝金		0.4			
	(目)	庁費		0.2			
	その他	-					
	計(A)	-	315.4				

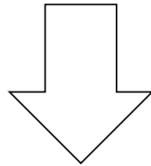
活動内容① (アクティビティ)	専修学校において、外国人留学生の戦略的受入れの促進と円滑な就職、その後の定着までを見据えた就職先企業との連携に関するモデルを構築するとともに、海外校設置にあたってのモデルプランを作成する。									
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標	活動指標	/	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
各取組拠点における多様なモデルの開発		開発したモデル数	活動実績	件	-	-	-	-	-	
			当初見込み	件	-	-	-	-	10	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	地域ごとに存在する産業や専修学校の様態は様々であり、留学生の受入れ戦略や海外校設置スキームは多岐にわたることから、取組拠点を確保し、多様なモデル開発に取り組むことをアウトプットとした。 外国人留学生の戦略的受入れの促進と就職先企業との連携も踏まえた円滑な就職、その後の定着までを見据えた有用なトータルパッケージモデル及び海外校の設置に向けたスキームを含めた先駆的なモデルが実現できれば、価値を感じた各地域・専修学校等がモデルを活用し、域内や各校の特性に応じた受入れ戦略・海外進出プランが整備されていくことが想定されることから、短期アウトカムとして「モデルの普及による各地域・各校における受入れ戦略等の整備・充実」を設定した。								
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	/	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度		
モデルの普及による各地域・各校における受入れ戦略等の整備・充実		各取組拠点で成果の普及・展開を行った団体数	成果実績	団体	-	-	-	-		
			目標値	団体	-	-	-	20		
			達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績	文部科学省調べ(各取組拠点への聞き取り)									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	各地域において、受入れ戦略が整備され、戦略的な留学生の受入れ・定着が可能となれば、専修学校への留学を選択する人材が増えると考えられるため、長期アウトカムとして「専修学校における受入れ留学生の確保・増加」を設定した。								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	/	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 15 年度		
専修学校における受入れ留学生の確保・増加		専修学校専門課程における留学生数	成果実績	人	-	-	-	-		
			目標値	人	-	-	-	90,000		
			達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績	日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査」									
アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由										
アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由										

※執行実績がない新規要求事業のため、現時点での予定やイメージを記入。

文部科学省
315.4百万円

※本省執行分
①職員旅費 1.1百万円
②委員等旅費 0.5百万円
③諸謝金 0.4百万円
④庁費 0.2百万円
を含む。

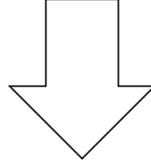
審査委員会を設置し、委託先の選定及び事業成果の評価等を行う。



委託【随意契約(企画競争)】

A. 民間事業者等(7団体)
211.9百万円

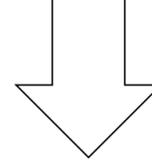
外国人留学生の戦略的受入れ、円滑な就職及び定着に向けた体制整備



委託【随意契約(企画競争)】

B. 学校法人等(3団体)
59.1百万円

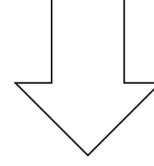
専修学校の国際化に向けた体制整備



委託【随意契約(企画競争)】

C. 民間事業者等(1団体)
21.0百万円

分野横断連絡調整会議の実施



委託【随意契約(企画競争)】

D. 民間事業者等(1団体)
21.1百万円

外国人留学生の受入れ等状況調査

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック